

児童発達支援・放課後等デイサービス多機能型

まいすてっぷ まいすてっぷKids



NPO法人
こころ・コミュニケーションの発達支援

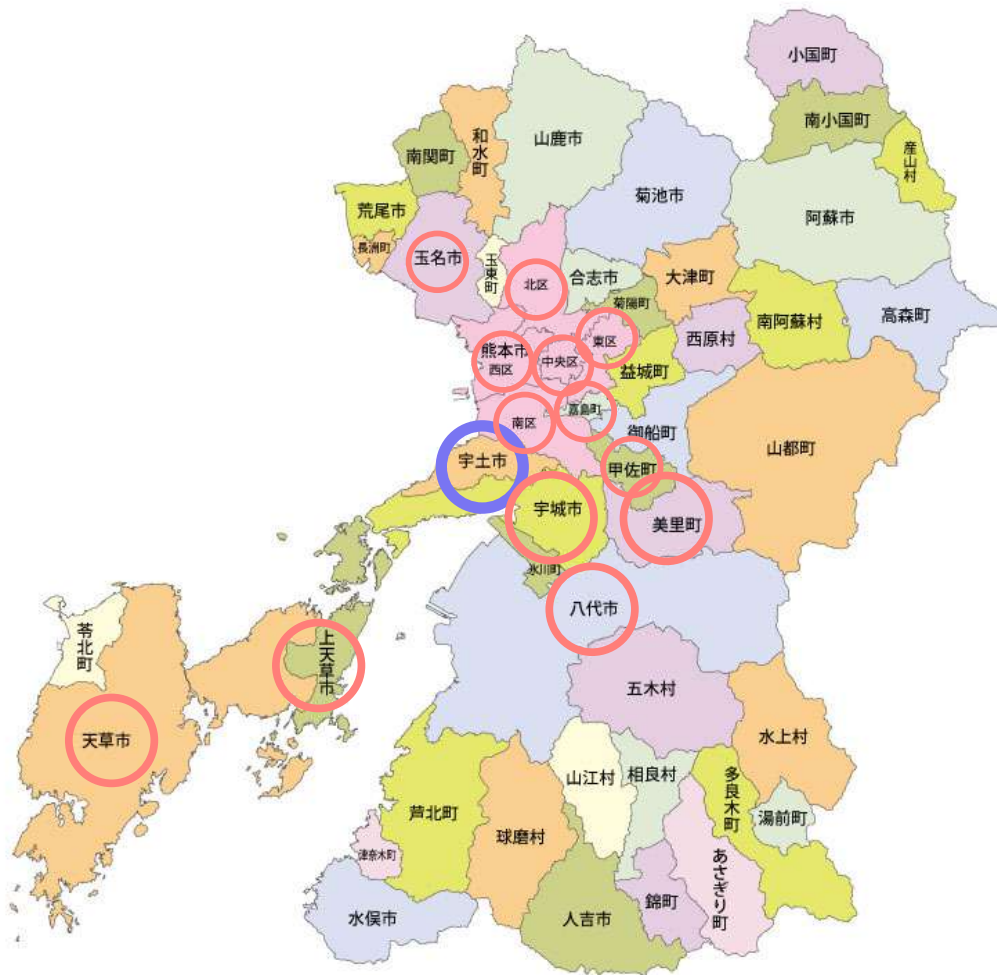
理事長 濱下かおり
子どもの発達支援を考えるSTの会 運営委員

法人主旨

私たち人間はどの地域社会においても、働きに違いのある脳を持つ子どもが生まれてきます。それを誰が担うかは誰にもわからず、また誰のせいでもなく、たまたま誰かが持って生まれてくるものです。

それを担ってくれた子どもたちとその家族を、地域の一員として温かく受け入れ、はぐくんで行く力を持つ地域社会こそが本当の人間社会であると思います。そのような社会を実現するために、私たちはこの宇土市に、特定非営利活動法人「こころ・コミュニケーションの発達支援」を設立します。この活動が、障害という「違い」のために戸惑い、行き場を求めている子ども達とご家族、支援者の集う憩いの場となって行くことを心から願っています。

熊本県宇土市



- ▶ 人口約37,000人の小さな自治体
- ▶ 熊本県のほぼ中央に位置する
- ▶ 大関、正代直也さんの地元
- ▶ サッカー日本代表、植田直通選手の地元
- ▶ 「チコちゃんに叱られる！」で見事第1位、最強の絶景
熊本県・宇土市 御輿来海岸

利用児の所属する自治体の分布 (2事業所合計 令和2年10月現在)

- 熊本市
児発3名、放デイ37名
- 鹿島町
児発1名
- 甲佐町
児発1名
- 美里町
児発2、放デイ2名
- 玉名市
放デイ1名

- 宇土市
児発15名、放デイ51名
- 宇城市
児発14名、放デイ29名
- 上天草市
児発1名、放デイ5名
- 天草市
児発1名
- 八代市
放デイ2名

児発38名 放デイ127名 計165名

多機能型事業所

児童発達支援

未就学児の療育

放課後等デイサービス

小学生から高校生までの療育

まいすてっぷは高校3年生まで、まいすてっぷKidsは現在小学校6年生まで

多機能型

2つ以上の機能を兼ねた事業所

児童発達支援と放課後等デイサービス

まいすてっぷ・まいすてっぷKidsは全て家族と通所

まいすてっぷ・まいすてっぷKIDSの対象児童

- 自閉スペクトラム症、ADHD、学習障害などの発達障害によるコミュニケーション障害
- 運動障害（脳性麻痺など）、知的障害（ダウン症など）によるコミュニケーション障害
- その他（未診断）のことばの遅れや構音の不明瞭（構音障害のみを除く）
- 聴覚障害
- 吃音症
- 選択性緘黙症 など

評 価

- 全般的な発達（遅れ、偏りなど）の評価
 - 年齢に応じた構音の評価
 - コミュニケーション能力の評価
 - 感覚ー運動能力や認知機能の評価 など
-
- ◆ 発達の状況を確認し、得意な面、不得意な面それぞれに対し、個別または小グループで療育を実施

評価に使用する検査等

<発達検査・知能検査>

- ▶ WISC-IV知能検査
- ▶ 新版K式発達検査2001
- ▶ K-ABC II
- ▶ DN-CAS
- ▶ J-MAP
- ▶ その他の簡易検査

<言語検査・認知検査>

- ▶ 言語・コミュニケーション発達スケール（LCスケール）
- ▶ PVT-R絵画語彙発達検査
- ▶ 構音検査
- ▶ S-S法言語発達遅滞検査
- ▶ フロスティング視知覚発達検査
- ▶ 感覚プロファイル
- ▶ その他の言語・認知検査

療育内容（就学前・小学校の低学年）

個別療育、同時間の子との遊び

2～4歳児はSTとの遊びの中でのやりとりが中心。年長・低学年の机上での言語・認知学習の前には、必要に応じて感覚統合療法を取り入れ、注意、姿勢保持、視知覚などの能力を向上し、楽しく達成感のある学習となるようにする。また、保護者には子どもとの関わり方をアドバイスする。

療育内容（小学校中・高学年）

個別療育、グループ療育、同時間の子との遊び

気持ちをことばに表すための学習、集団の中で起こりうる場面を、視覚的に提示してのソーシャルスキルトレーニング、感情の学習などが加わり、社会で適応して生活するために必要なスキルを身につけられるよう支援する。

子ども同士の意見交換の中で、意思表示の仕方や相手の気持ちの読み取り方、意見の聴き方を学びながら、コミュニケーションを楽しめるよう導く。

療育内容（中学校・高校）

個別療育、グループ療育、同時間の子との遊び

男子、女子に別れての学習。自分の特性を理解し、場合によっては自分の診断名についても知識を深めていく「自己認知学習」を行う。

男子、女子にそれぞれ必要な性教育、自己防衛や触法行為に関する知識を身につける。身だしなみや時間の管理、金銭管理についても、家庭や学校の状況を聞きながら取り入れていく。

高校生は就労、進学に合わせてスキルを習得する。

療育に用いる様々な方法

- ▶ 構音・ことばの学習
- ▶ 感覚統合理論
- ▶ 感情コントロール：The CAT-kit
- ▶ コミック会話
- ▶ ソーシャルストーリーズ
- ▶ CAREプログラム（保護者）
- ▶ 吃音学習
- ▶ 自己認知学習 他

▶ 関わる職種（2事業所計）

言語聴覚士6名、作業療法士1名、認定心理士1名、保育士3名、児童指導員2名（うち1名 特別支援教育士 S.E.N.S受講終了）

感覚統合理論を活用した療育



バイオリン・チェロコンサート 楽器の体験





ひとりひとりの子どもたちの
歩幅に合わせて伴走します

まいすてっぷ・まいすてっぷKids